

# 学童クラブの充実を目指して

岡野一男議員

## ○子育て支援策について

質問 ①学童クラブは、現在

小学校1年生から3年生までの利用対象であるが、今後は6年生まで拡大すべきであり、かつ、利用時間の延長も考慮すべきであると考えるが、市としての考え方を示せ。②学童クラブの設置は、利用者が小学生といることで小学校と隣接しているのが本来あるべき姿と考えるが、市としてはどのように考えているのか。③待機児童解消に向けてどのように取り組もうとしているのか。

答弁(教育部長) ①6年生ま

での入所児童の拡充について、入所希望者状況を調査し、要望の強い地区から施設の受け入れ態勢が整い次第、順次進めていく。②の開設時間の延長は、現在、延長は午後6時までだが、今後、午後7時まで延長することを、保護者の希望状況や現場指導員の健康状態等も考慮しながら順次検討していきたい。

次に、設置場所について同一敷地内にあることが望ましい。今後、学校との協議の中で検討をしていきたい。

(保健福祉部長) 待機児童はすべて3歳未満児で平成22年12月1日現在47人。待機児童解消の具体的な対策としては、公立保育所においては施設の改修や増改築等の整備が急務で、平成22年度は5名、来年度は新たに最大で1・2歳児合わせて24人多く受け入れ体制が確保される予定である。

また、民間保育所に定員の超過の取扱いを引き続きお願いするなど「待機児童ゼロ」を目指して努力していく。

(再質問) 絹西小学校の希望登録者が最大時82名と聞く。早急に対処してほしいがどうか。

(再答弁)(長谷川市長) 現在教室が一つでは足りないということは承知している。増設をしたいと考えている。6年生までの拡充は

モデル的にやってみたい。ニーズの調査をして子ども視点で環境を整えたい。(その他の質問事項)

○子ども手当の財源構成について。



学童クラブ風景



# 先進地視察に行きました

議会だより編集委員会は議会だよりのさらなる紙面の充実を目指して、先進地の視察を行った。視察地の福島県広野町議会は全国町村議会議長の議会広報全国コンクール4年連続で入賞し、平成21年には最優秀賞に輝いた日本一の議会広報紙を発行している。

日本一までの道のりには多くの努力や工夫があり議会だよりへの取り組みの状況は大変参考になった。今後の紙面構成に生かしていきたい。  
・期日 2月2日～3日  
視察地 福島県広野町  
視察事項 「議会広報編集について」



右から  
遠藤 正信委員  
篠崎 正己副委員長  
吉原 光夫委員長  
吉田 栄一委員  
石塚 洋(事務局)

左の二名は、今回の視察には参加できませんでしたが、議会だより編集活動に、活躍しています。



石川栄子委員



岡野一男委員